

【問 題】

リースマンの社会的性格について説明せよ。

【解答例】

社会的性格は、フロムが『自由からの逃走』において用いた概念であるが、リースマンはフロムの影響を受け、『孤独な群衆』において社会的性格について独自の考察をおこなった。

彼は、社会的性格は当該社会の状況に適應するように、両親からのしつけ、教育などによって形成されていくものであるとし、このような意味で、社会的性格とは人々が社会状況に適應するための「同調性の様式」であるとした。

リースマンは、社会的性格は上のようなものであるが故に、社会が變動すれば、それに呼応して社会的性格も変化することになるとして、社会的性格をそれぞれの時代状況に応じて 3 つのタイプに類型化した。

まず前近代の伝統的社会における社会的性格が「伝統指向型」である。これは、伝統的なしきたりや風習などを尊重し、それに忠実に順応していこうとする性格をいう。

次に産業革命以降の近代社会にみられる社会的性格が「内部指向型」である。これは、社会が近代化による混乱状態にあっても自己の行動を左右されず、自己の内なる信念や価値観に忠実に行動しようとする性格である。混乱した状況にあっても自身の方向性を自己決定しうる人間、という意味で「ジャイロスコープ型人間」ともよばれる。

最期に資本主義の成熟した大衆消費社会における社会的性格が「外部 (他人) 指向型」である。他者の動向や嗜好に注意を払い、自己の行動をそれに合わせるような性格類型であり、組織の官僚制化が進み、対人関係が重視される時代においては、こうした性格類型が最も適合的になるとされる。常にアンテナを張りめぐらせているという意味で「レーダー型人間」ともいわれる。

以上がリースマンの社会的性格の 3 類型論であるが、こうした彼の主張は、時代の変化から社会的性格を考察したところに大きな特徴があるといえよう。

以上